

# 上京中だより

京都市立上京中学校 校長 近藤 博史

令和2年12月23日

12月号

校訓 人・もの・ときを大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

豊かな心とたくましく生きる力を備え、社会に貢献する

夢や希望をもって、未来を切り拓く生徒の育成

## 12月の言葉

「この1年を  
しっかりと振り返り  
次の成長につなげよう」



12月も下旬となり、今年もあと1週間余りで終わろうとしています。先週は気温がグッと下がり、雪が舞うなど寒さが一段と厳しくなりました。ここに来て、本格的な冬の到来を感じています。

また本来なら、寒さとともにインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行(はや)る時期でもあります。今年はインフルエンザに感染する児童生徒の数が激減しています。マスク着用や手洗いの励行、換気による空気の入換えなど、毎日の地道な取り組みのお陰なのかもしれませんね。

その一方で、新型コロナウイルス感染症は急激に拡大しており、こちらは心配されます。体調管理にはこれまで以上に気を配り、先に書いた感染予防の基本(マスク・手洗い・換気)とともに、毎日の検温と症状のチェック、人混みを避ける、十分な睡眠と栄養を取るなど、感染防止のための行動を徹底してください。徹底することが感染リスクを下げることに繋がります。ご家庭でのご協力もお願いします。

さて、令和2年(2020年)も残りわずかとなり、振り返りの時期を迎えています。今年の初め(1月)に「この1年間はこうのように過ごしたい」「こんな風に1年を送りたい」「このような1年にしたい」と思い描いたこと(誓い・願い)や、学年が変わった4月に心機一転立てた目標を皆さんは覚えていますか?そしてそれらは今、どの程度達成できたのでしょうか?「順調にほぼすべて達成できた」「半分くらいかな?」「あまり達成できていない」など、人によってその答えは様々で、達成度は異なるかもしれません。

しかし、1年間が終わり、新しい年を迎えようとしているこの時期に、1年を振り返るその作業は、現状を改善したり、次へのステップに進むためにとても大切なことだと思います。今一度、これまでの自分の行動や取組を振り返り、「何ができて、何ができなかったのか」、「次はどのように行動すればよいのか、どんなことに取り組めばよいのか」など、自分を見つめ直す時間をつくってみてください。

そして、そこで出てきた課題や分析結果をもとに、今の学年の残り3か月(1~3月)をどのように過ごせばよいのかを点検し、もう一度計画を練り直してみましょ。何をするかという具体的な“行動目標”をしっかりと持つことが、目標を達成するためには重要です。是非とも、そんな時間をつくってみてください。そのことが、次の1年間の成長にもきっと繋がります。

もちろん、令和3年(2021年)の目標をそろそろ考えたり、身近なところでは期末テストや学習確認プログラムの振り返りも大切です。テスト直しがまだの人は必ずやっておきましょう。地道な努力が自分自身の力となっていきます。

「この1年をしっかりと振り返り、次の成長につなげよう!」



上: PTA朝の挨拶運動  
下: 健康教室(体幹トレーニング)

## ◆3年生「修学旅行 広島編・後編」

1日目続き、2日目も好天に恵まれました。宿舎で朝食を済ませ、午前中は島内散策です。大久野島は多くのウサギに出会える島であるとともに、戦争の爪痕(つめあと)を今も残す島としても知られています。この島は戦時中にはその存在が地図から消され、そこで様々な毒ガスの研究が行われて

いました。今も島の所々に研究室跡や貯蔵庫跡、砲台跡などが残っており、新たに建てられた毒ガス資料館は、凄絶(せいぜつ／非常にすさまじいこと)な島の戦史の語り部としての役割を担っています。改めて、戦争と平和というこの二つの言葉を考えるきっかけとなりました。

島内散策後は、いったん広場に集合し、お世話になった宿舎の方に代表生徒がお礼の言葉を述べました。ウサギたちともお別れし、大久野島を後に、午後の“しまなみ海道サイクリング”の出発地点となる「瀬戸田サンセットビーチ」へと移動しました。ビーチの砂浜の傍(かたわ)らで海を見ながらお弁当(おにぎり)がとても美味しかった！)を食べ、自転車に乗るまでの少しの時間、海辺や砂浜で戯(たわ)べながら、楽しい時間を過ごしました。

午後1時前に再集合。そこで自転車の乗り方等の講習を受け、いよいよクラス単位で1時間半ほどのサイクリングに挑戦です。インストラクターの方を先頭に1列に並び、先生たちも前後に控え、まずはゆっくりとスタートしました。

しまなみ海道は広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ連絡道で、その間に6つの島々があり、6つの橋と渡船でつないでいます。たくさん島の島々と海を望む美しい風景と雄大な橋に十分満足できる風光明媚(ふうこうめいび)なサイクリングロードとして、「サイクリストの聖地」とも呼ばれ、世界7大サイクリングロードにも選ばれるなど、国内外から注目を集めている場所です。全長70～80kmあり、今回はその中の生口島と伯方島を結ぶ15～20kmほどの行程にチャレンジしました。

ゴールとなる「伯方島ビーチ」までにはアップダウンもあり、しんどいと感じることもありましたが、下り坂は心地よく、景色を楽しみながら自転車を走らせました。一部転倒等のトラブルもありましたが、全員がゴール地点まで戻ることができました。

また、サイクリングに不参加となった生徒たちは、クルーズ船での渦潮見学に参加し、空の青さと潮流の渦巻くようすに、大自然の素晴らしさを満喫(まんきつ)したようでした。

予定より少し遅くなりましたが、その後、バスで尾道の干光寺公園に向かい、公園内の坂の上の展望台でクラス写真を撮影。ハードなサイクリングの後なので、この坂はきついかと心配していましたが、撮影の際の表情は笑顔いっぱい、とても元気そうでした。

呉市内で夕食を済ませ、再び広島市内に戻り、市内の真新しいホテルに到着して、2日目の日程を無事終えることができました。今日はよく動いた！

3日目も天気は良く、今年の3年生は本当に天候には恵まれています。ホテルの室内で朝ご飯を食べ、荷物をまとめて8時過ぎにホテルを出発しました。目的地は宮島です。古い歴史と豊かな自然が広がる宮島は“安芸の宮島”(あきのみやじま)と呼ばれ、日本三景の1つに数えられています。島内には世界遺産に登録された“厳島神社”(いつくしまじんじや)がありますが、残念ながら、神社の眼前に浮かぶ大鳥居は大修理のためシートに覆(おお)われ、朱塗りのそびえ立つその姿を見ることはできませんでした。それでも班ごとに分かれて厳島神社を見学し、表参道商店街でお土産を買ったり、近寄ってくるシカを横目に揚げもみじ(揚げたもみじまんじゅう)などを食べながら、おしゃべりをしたり、写真を撮ったりと、約2時間の楽しい散策となりました。

お昼前に宮島から船に乗って広島市内に戻り、旅の最後は広島名物の「広島焼き」。皆で美味しくいただきました。大満足！

コロナ禍の中で「本当に行けるのか?」「無事終えることができるのか?」と心配していましたが、何とか思い出に残るものになったかなとホッとしています。今回の修学旅行が、一緒に過ごした仲間一人一人の良さを皆さんが発見し、広島の良い自然だけでなく、過去の悲惨な戦争の歴史にも触れ、改めて平和の尊さをについて考えるきっかけとなったなら幸いです。そして、日頃の学校生活では味わえない有意義な修学旅行での経験を、さらに今後活かしてほしいと思います。3年生の皆さん、お疲れ様でした。

最後になりましたが、今回の修学旅行に際し、保護者の皆様のご理解とご協力には感謝しております。本当にありがとうございました。

## ◆「新体制へ 生徒会選挙・認証式」

10月12日に生徒会選挙の告示があり、今年度の生徒会役員の改選がスタートしました。15日から立候補者受付が始まり、立候補者は1・2年生合わせて18名。26日からの選挙活動では、早朝から候補者と応援者が、登校してくる生徒たちに支持を訴えました。今年は感染症拡大防止のため、全校生徒が体育館に集まることはできないので、11月2日の立会演説会では、10月30日に事前収録した演説会の映像を流しました。映像では立候補者が真剣な表情でそれぞれ抱負を述べ、応援者は立候補者の良さを伝えました。教室でその映像を見ることになった生徒たちも、しっかりとした態





度でその演説に耳を傾けていました。原稿をほとんど見ずに堂々と演説するその姿は、とても素晴らしく、立派でした。見ていてとてもかっこよかったです。

今回の選挙を受けて、11月25日には13名の生徒会役員と学級委員の認証式がオンラインで行われました。新役員と新しい学級委員(代表)には認証書が手渡され、前生徒会長から新生徒会長に生徒会旗が引き継がれ、新会長が挨拶と抱負を語りました。

その後、校長先生からは、最初に、コロナ禍の中であっても「できない」と諦めず、できることを模索して取り組んだ旧役員への労(ねぎら)いの言葉がかけられました。そして、新体制でのスタートに向けて、今年度の生徒会スローガン「不撓不屈(ふとうふくつ/どんな苦労や困難にもくじけないこと)」のことに触れ、不撓不屈の精神で、最初からできないと諦めず“挑戦”することが大切で、取組を成功させるためには皆の“協力”が必要であるというメッセージが送られました。



左上：朝の選挙活動 右上：認証式(生徒会旗渡し)  
左下：立会演説会収録 右下：評議・専門委員会

【追記】これまで1年間、生徒会の役員として全校生徒を牽引してくれた旧中央委員の皆さん、お世話になりました。今後も新役員を温かく見守り、良き先輩としてご指導よろしくお願いします。

## ◆「2年生 高校出前授業」



11月4日(金)6・7限に、京都市内の公立・私立高校6校にお世話になり、本校で2年生を対象にした、高校の先生による出前授業(授業体験)が行われました。

この授業体験は、本校では昨年度から実施しており、今の2年生に、高校の先生の授業を直接体験することによって、高等学校への興味・関心を高め、自らの進路をより具体的に考えさせるための機会として行っています。

当日は「数学・農業・工学・英語・美術・保育」の教科で6講座が開設され、中学生向けにアレンジされた内容で、1クラス2講座の体験をしました。

実際に授業が始まると、最初は緊張気味でしたが、テンポのある授業進行と授業者の工夫により、徐々に高校の先生と笑顔で話することができるようになりました。しっかり話を聞いたり、真剣に授業に取り組む態度や、積極的な姿勢、きちんとした受け答えなど、高校の先生からは「良かった」「嬉しかった」とお褒(ほ)めの言葉もいただきました。

今回の経験が、まもなく3年生となる皆さんにとって、進路を見据(み)えるきっかけとなり、進路実現のために勉強に取り組むモチベーションとなれば何よりです。

なお、授業をしていただいた6校の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。今後とも、よろしくお願いします。



堂々と発表する先輩！

【保護者の皆様へ】 12月16日からの三者懇談会は1・2学期を振り返り、お子たちの今後について、保護者の皆様と一緒に考える良い機会と捉えています。お忙しいときではございましたが、ご出席いただきありがとうございました。



また、11月13日と12月15日のPTA朝の挨拶運動や文化教養教室(マスクチャームづくり/11月16~30日にYou Tube公開)、健康教室(12月18日に体幹トレーニング)にご参加いただき、ありがとうございました。コロナ禍の中で、各委員会の企画では試行錯誤(しこうさくご)しながらも、やれることを見つけ、実施に向けてご尽力いただき感謝しています。挨拶運動では、生徒たちが思った以上に挨拶をしてくれると、笑顔で報告をしていただいたり、各教室の活動では「楽しかった」「役に立った」などの感想をいただき、嬉しい限りです。今後ともPTA活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

## 【生徒の皆さんへ】

- ◆ 12月16日から始まった“三者懇談会”もほぼ終わり、今日で2学期も終了。いよいよ明日から1月4日までの12日間は冬休みとなります。懇談会で担任の先生と振り返った内容（“良かった点”や“悪かった点”、“今後頑張ること”など）をもう一度確認し、その内容を踏まえて冬休みの目標・計画を立て、コツコツと実践できるよう頑張しましょう。とくに3年生は、進路実現を目指す大切な時です。努力を続けましょう。**“継続は力なり！”**
- ◆ 本校を訪問される多くの方から、「上京中の生徒の皆さんは本当によくあいさつをしてくれますね」と褒めていただいています。嬉しいことです。大きな声でさわやかに挨拶してくれると気持ちがいいですね。これからも人と人の心をつなぐ“あいさつ”を大切にしてください。
- ◆ また、環境委員や女子バレーボール部やバスケットボール部、陸上競技部の生徒をはじめ多くの皆さんが、行事等の準備を手伝ってくれたり、登校時に校内や校門付近の清掃、落ち葉掃きに一生懸命取り組み、環境美化に努めてくれています。本当にありがとうございます。
- ◆ 秋季大会（新人戦）や全市的な行事等での入賞だけでなく、夏休みの宿題（課題）などの中から、各コンテストやコンクールで表彰された作品がたくさんありました。今日の終業式で表彰しましたが、入賞・入選した皆さん、おめでとうございました。（詳細は学校だより1月号で紹介します）

## 12月是人権月間

12月是人権月間です。1948年12月10日の国連総会で、二度にわたる世界大戦の反省と平和への願いから「世界人権宣言（前文と30の条文から成る）」が採択され、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権（生命・身体・安全他）についての世界の共通基準が示されました。（基本的人権を確保するために、すべての人民、国・地域が達成すべき共通の基準）

日本でもそれを受け、1949年から12月4日～10日を入権週間と定め、今年度は『「誰か」のこと じゃない』という標語のポスターが作成されました。このポスターには、様々な人権問題について、「誰かのことではなく自分のこととして捉え、考えていただきたい」という思いが込められており、この間、人権尊重の考えを普及するために、具体的な啓発活動を展開しています。

「世界人権宣言」が採択されて72年を経た今もなお、世界では、シリアをはじめとする国や地域で、多くの子どもたちが戦火に巻き込まれ、幼い命が奪われています。数年前の新聞には、「シリアの学校に68回を超える攻撃があり、子ども160人が亡くなったことや、拉致された子どもが戦闘訓練を受けていたり、少女が自爆テロを強いられている」などの記事が載っていました。1990年に「子どもの権利条約」が採択・発行され、200近い国・地域が条約の趣旨と内容に賛同し署名しているにも関わらず、紛争地の子どもの命を救えない現状が未だに残っています。

また、私たちの身近なところでも、いじめや虐待をはじめ、子どもや高齢者、障害のある人、外国人など様々な人々への人権侵害や、インターネット上の誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）など、人権を踏みにじる心ない、悲しい出来事が起こっています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、感染者や医療従事者と、これらの家族等に対する偏見や差別につながる行為も、まさにそれにあたります。

ソーシャルディスタンス（社会的距離）が叫ばれていますが、心の距離はぐっと縮めて、差別や偏見の向かう先が、「もし自分だったら」「もし家族や友人だったら」と自分に引き寄せて考えることができれば、きっと差別や偏見を生まない環境につながるはずです。

かけがえのない一人ひとりを大切に、互いに尊重し合える社会を実現していくために、世の中の人権侵害や差別・偏見等の現状を知り、改めて“人権の大切さ”について話し合い、考える機会を持っていただけだと願っています。その取組が世の中を善くする一歩となるのではないのでしょうか。

ご家庭でも、お子たちと一緒にそのような機会を設けていただくようご協力をお願いします。





## 【学年別体育大会より】



上段：1年学年種目  
下段：3年集団演技

1年学年種目  
3年100m走

2年学年種目  
3年学年種目

2年学年種目  
3年リレー

## 【3年修学旅行より】 上段：平和公園・レクレーション・夕食・大久野島（ウサギ撮影）



中段：大久野島広場・船デッキ・ビーチでジャンプ・インストラクター紹介（サイクリング）  
下段：サイクリング出発・尾道千光寺・船内で写真（宮島）・広島焼き



わたしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

【1月行事予定】

1 2月行事予定を添付

